

おかげさまで



あなたとつくる 笑顔の未来

とよしん 景況調査

NO.125

2021年10月発行

- 景況アンケート調査
(2021年7月～9月期実績 2021年10月～12月期見通し)
- 特別調査
- スポットライト ～がんばる地元企業～
(掲載企業：株式会社 戸田工務店)



おたくも うちも

豊橋信用金庫

《第125回景況アンケート調査》

総括判断

『当地区の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続くなか、持ち直しの動きに一服感が見られる。』

とよしん景況天気図(業況DI)

	2020年 7~9月	10~12月	2021年 1~3月	2021年 4~6月	当期実績 7~9月	来期見通し 10~12月
全業種総合	 ▲28.5	 ▲18.7	 ▲17.1	 ▲12.5	 ▲11.3	 ▲8.1
製造業	 ▲48.3	 ▲30.2	 ▲24.3	 ▲10.3	 ▲9.3	 ▲7.9
卸売業	 ▲22.2	 ▲18.5	 ▲27.9	 ▲20.0	 ▲18.8	 ▲17.2
小売業	 ▲26.2	 ▲22.6	 ▲16.7	 ▲14.5	 ▲14.3	 ▲11.1
サービス業	 ▲22.1	 ▲14.9	 ▲16.7	 ▲15.8	 ▲13.0	 ▲10.6
建設業	 ▲27.2	 ▲20.2	 ▲11.9	 ▲15.1	 ▲14.0	 ▲13.0

《天気図の見方(DI)》



《調査要領》

調査期間

2021年8月2日(月)～8月31日(火)

調査対象時期

2021年 7月～ 9月期実績
2021年10月～12月期見通し

調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

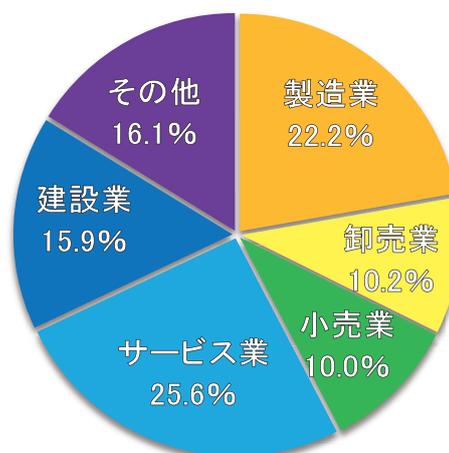
当金庫お取引先企業 630社

分析方法

DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

※DIとは、各調査項目で「増加(上昇・良い)」と回答した企業割合から、「減少(下降・悪い)」と回答した企業割合を差し引いた値を指数化したものをいいます。

調査対象企業(630社)の内訳



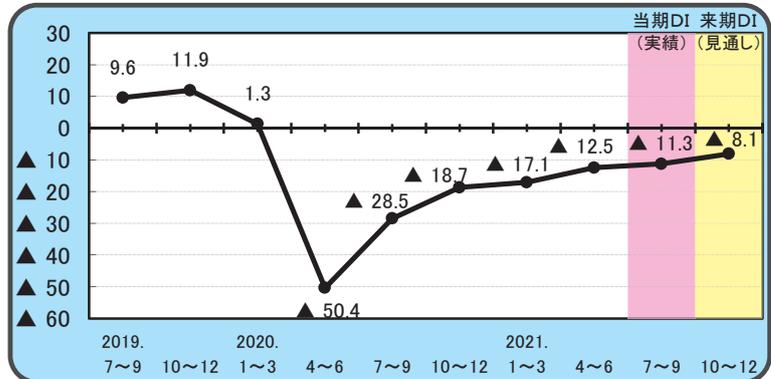
全業種総合

～業況・売上・収益ともに5期連続で改善するものの、マイナス圏で推移～

業況

【当期(7～9月)DIの実績】
▲11.3 (前期比+1.2ポイント)

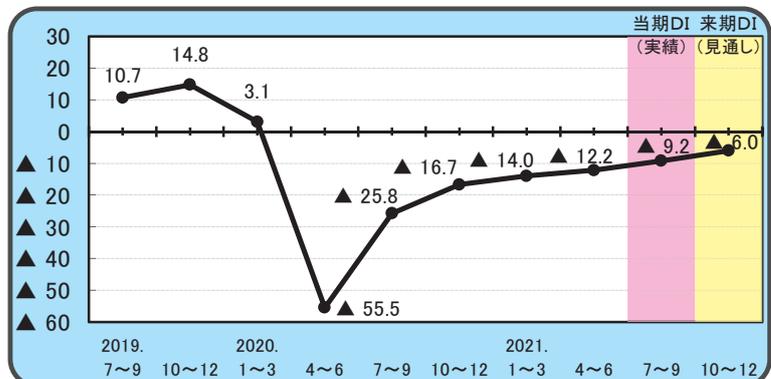
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲ 8.1 (当期比+3.2ポイント)



売上

【当期(7～9月)DIの実績】
▲ 9.2 (前期比+3.0ポイント)

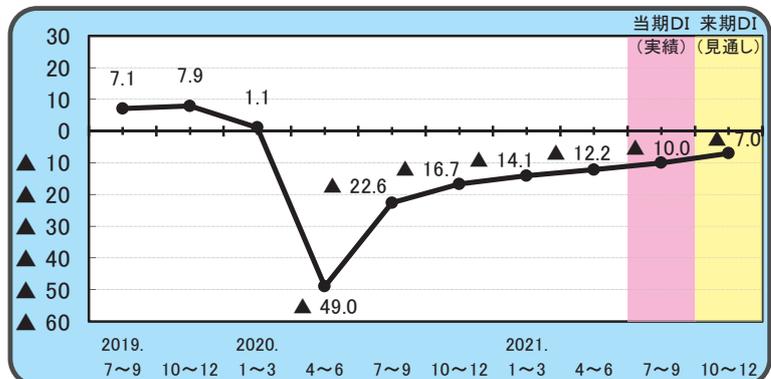
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲ 6.0 (当期比+3.2ポイント)



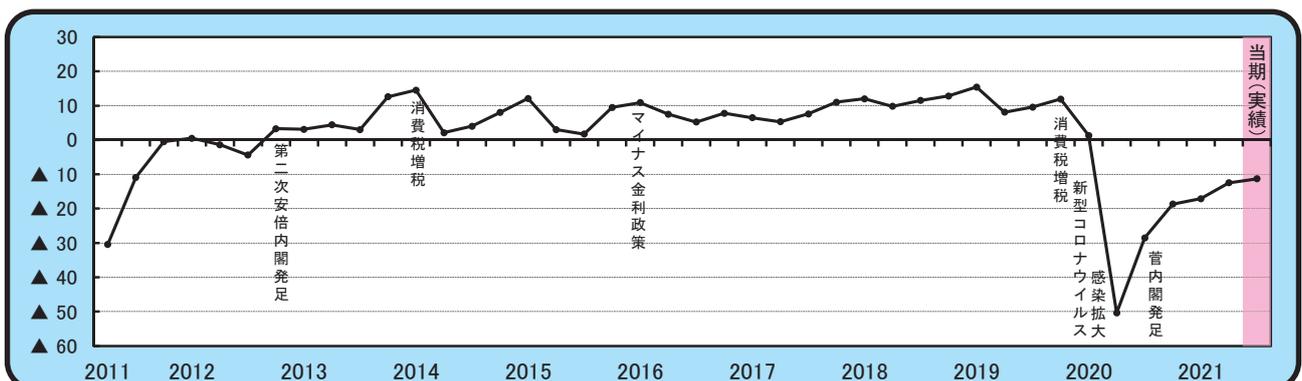
収益

【当期(7～9月)DIの実績】
▲10.0 (前期比+2.2ポイント)

【来期(10～12月)DIの見通し】
▲ 7.0 (当期比+3.0ポイント)



過去10年間の業況DI推移



製造業

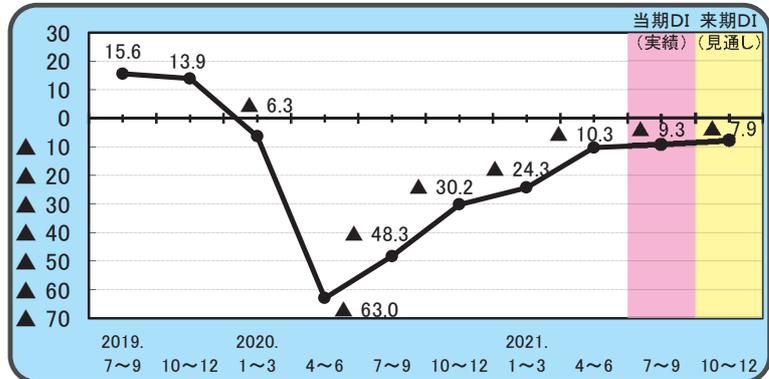
～業況・売上・収益ともに5期連続で改善するものの、マイナス圏で推移～

当期業況DI (実績) 2021年7～9月	来期業況DI (見通し) 2021年10～12月
 ▲9.3	 ▲7.9

業況

【当期(7～9月)DIの実績】
▲ 9.3 (前期比+1.0ポイント)

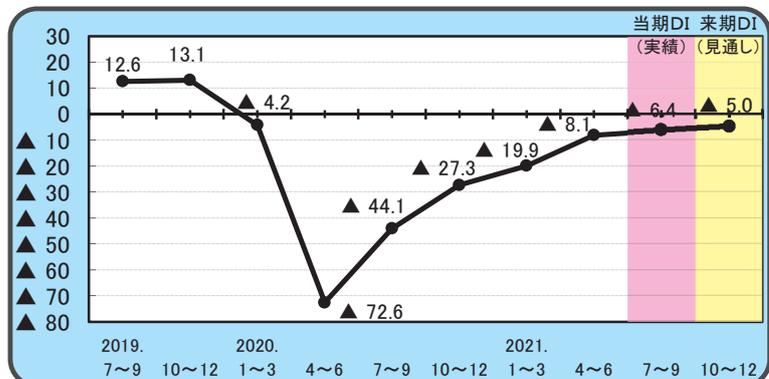
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲ 7.9 (当期比+1.4ポイント)



売上

【当期(7～9月)DIの実績】
▲ 6.4 (前期比+1.7ポイント)

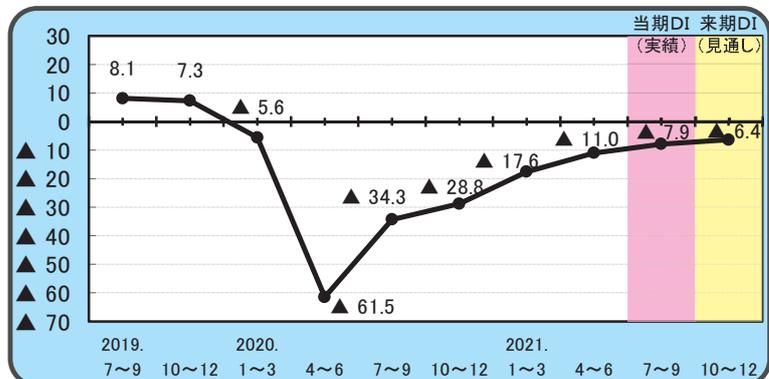
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲ 5.0 (当期比+1.4ポイント)



収益

【当期(7～9月)DIの実績】
▲ 7.9 (前期比+3.1ポイント)

【来期(10～12月)DIの見通し】
▲ 6.4 (当期比+1.5ポイント)



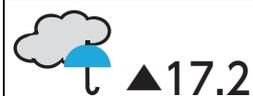
- ・家庭用電化製品関連については、依然として半導体や電子部品が世界的に不足する深刻な状況が続き、生産にも大きな影響を与えている。また、原材料価格の高騰によって収益を圧迫している。
- ・自動車部品関連については、各大手自動車メーカーの減産や工場の稼働停止を受けて、下請け企業も生産調整を行っている。また、サプライチェーンの混乱から、原材料・部品の調達が滞っている状況も見受けられる。

卸売業

～業況・売上は改善するも、
収益は悪化～

当期業況DI
(実績)
2021年7～9月

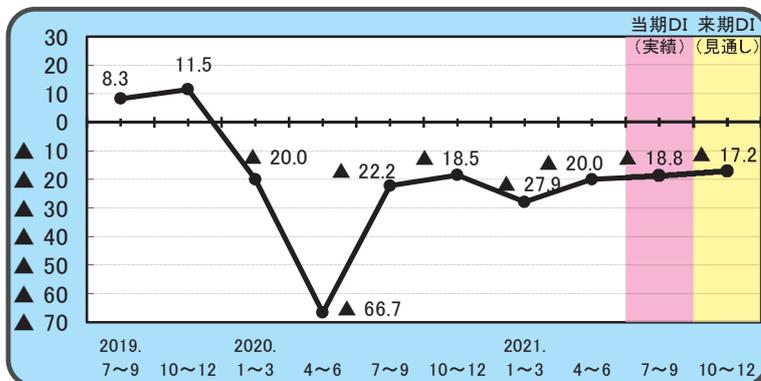
来期業況DI
(見通し)
2021年10～12月



業況

【当期(7～9月)DIの実績】
▲18.8 (前期比+1.2ポイント)

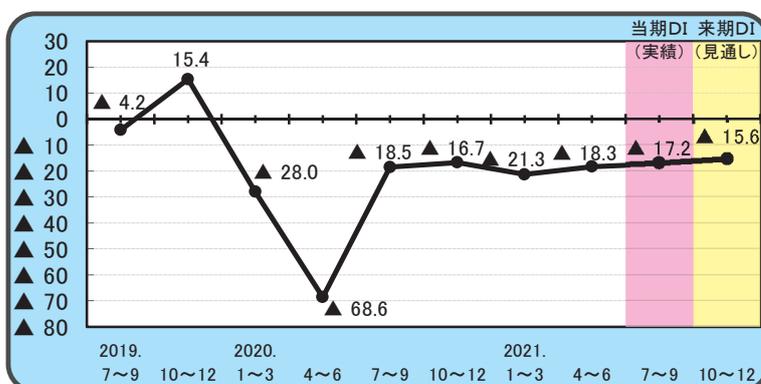
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲17.2 (当期比+1.6ポイント)



売上

【当期(7～9月)DIの実績】
▲17.2 (前期比+1.1ポイント)

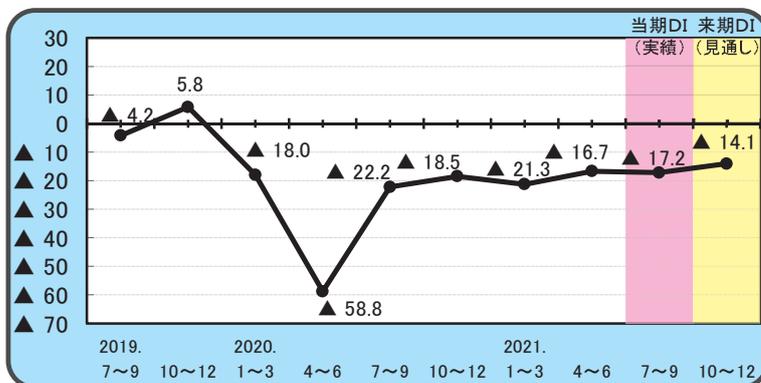
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲15.6 (当期比+1.6ポイント)



収益

【当期(7～9月)DIの実績】
▲17.2 (前期比▲0.5ポイント)

【来期(10～12月)DIの見通し】
▲14.1 (当期比+3.1ポイント)



- ・ 建築木材卸については、ウッドショックの影響から木材価格は高止まっている。輸入木材の供給量は徐々に回復傾向にあるものの、価格に反映されるまで時間を要する。輸入木材に依存した構造に問題が顕在化したため、各住宅メーカーなどは調達先の見直しをしており、官民が連携した国内木材の供給体制を強化する動きが求められている。
- ・ 食料品関連卸については、緊急事態宣言に伴う飲食店の休業・時短営業の影響から厳しい状況が続いている。また、各種商品の値上げが収益を圧迫している。
- ・ 梱包資材卸については、自動車の減産の影響から先行きが見通せない状況が続いている。

小売業

～業況は改善するも、
売上・収益は悪化～

当期業況DI
(実績)
2021年7～9月

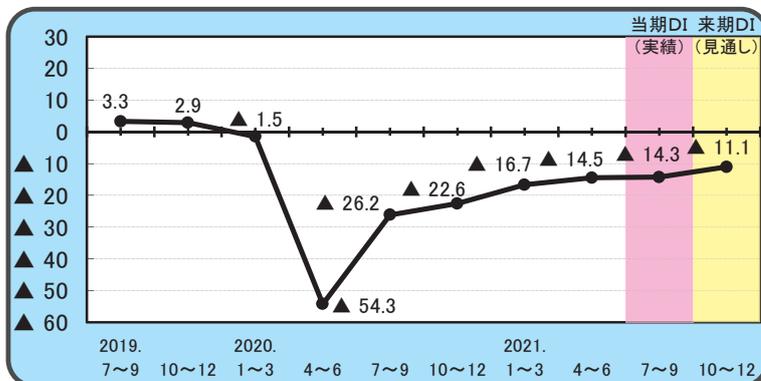
来期業況DI
(見通し)
2021年10～12月



業況

【当期(7～9月)DIの実績】
▲14.3 (前期比+0.2ポイント)

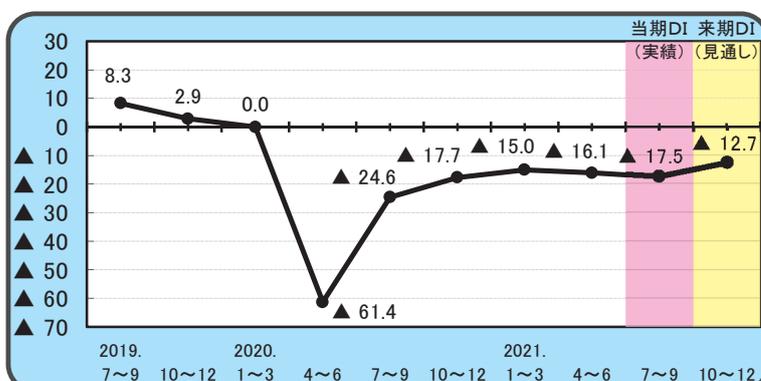
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲11.1 (当期比+3.2ポイント)



売上

【当期(7～9月)DIの実績】
▲17.5 (前期比▲1.4ポイント)

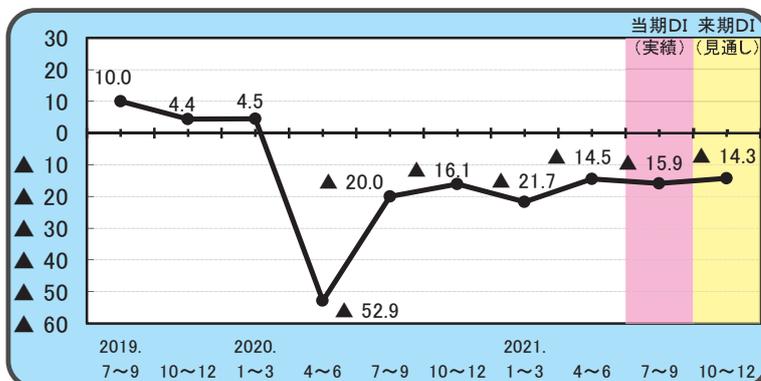
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲12.7 (当期比+4.8ポイント)



収益

【当期(7～9月)DIの実績】
▲15.9 (前期比▲1.4ポイント)

【来期(10～12月)DIの見通し】
▲14.3 (当期比+1.6ポイント)



- 自動車販売業については、世界的な半導体不足による減産などから、新車の納車が遅延しており、需要に対応できていない状況が続き、納車に1年程度掛かるケースも見られる。中古車販売は、納車が長期化している新車を避ける動きが見られ、需要が拡大している。また、下取り車の減少も相まって品薄感が続き、販売価格が高騰している。

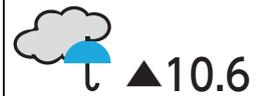
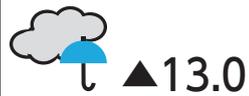
- ガソリンスタンドについては、緊急事態宣言の影響によってガソリン需要は低迷している。将来的にも、脱炭素化の流れからガソリン需要減少の加速が懸念されている。

サービス業

～業況・売上・収益ともに改善～

当期業況DI
(実績)
2021年7～9月

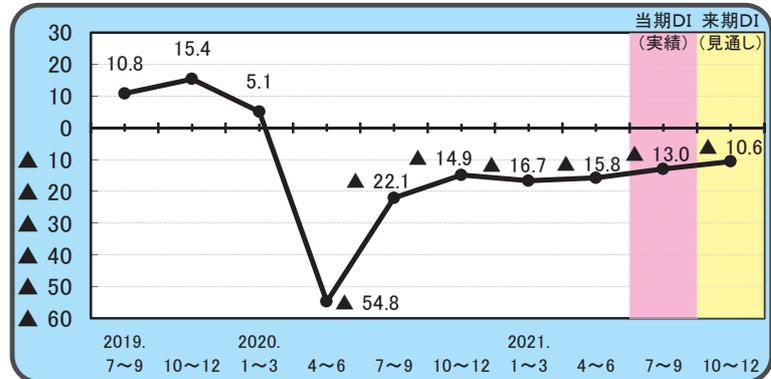
来期業況DI
(見通し)
2021年10～12月



業況

【当期(7～9月)DIの実績】
▲13.0 (前期比+2.8ポイント)

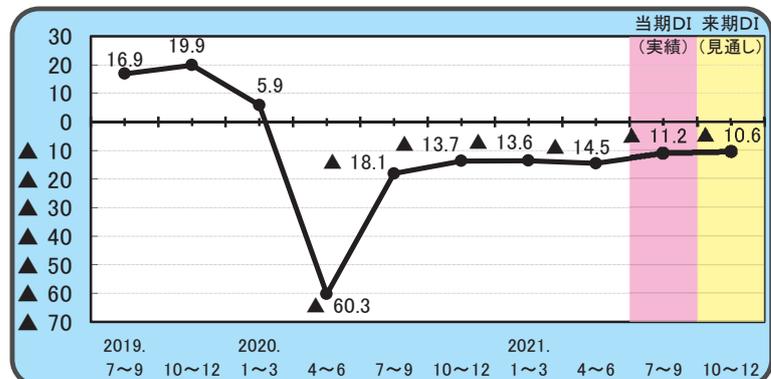
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲10.6 (当期比+2.4ポイント)



売上

【当期(7～9月)DIの実績】
▲11.2 (前期比+3.3ポイント)

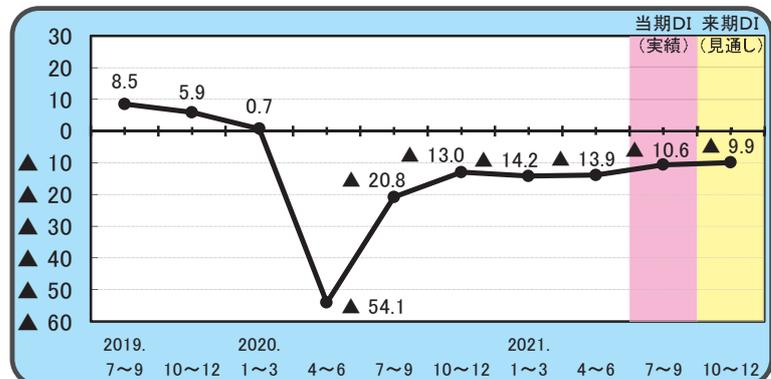
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲10.6 (当期比+0.6ポイント)



収益

【当期(7～9月)DIの実績】
▲10.6 (前期比+3.3ポイント)

【来期(10～12月)DIの見通し】
▲9.9 (当期比+0.7ポイント)



- ・飲食業については、緊急事態宣言の影響から非常に厳しい業況が続いている。特に酒類の提供禁止によって、採算が見込めない居酒屋などでは、休業している先が見られる。
- ・ホテル・旅館業については、依然として需要が低迷しており、厳しい状況が続いている。行動制限緩和の議論がされるなど明るい兆しもあるが、コロナ前の水準まで回復する見込みがなく先行きが不透明である。
- ・デイサービスについては、高齢者のワクチン接種拡大によって利用者数は回復傾向にあり、昨年よりも売上の増加が見込まれるが、感染対策の費用負担が重荷になっている。

建設業

～業況・売上は改善するも、
収益は横ばい～

当期業況DI
(実績)
2021年7～9月

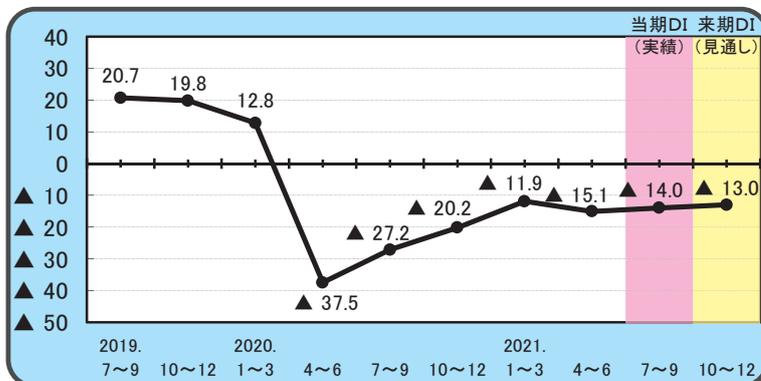
来期業況DI
(見通し)
2021年10～12月



業況

【当期(7～9月)DIの実績】
▲14.0 (前期比+1.1ポイント)

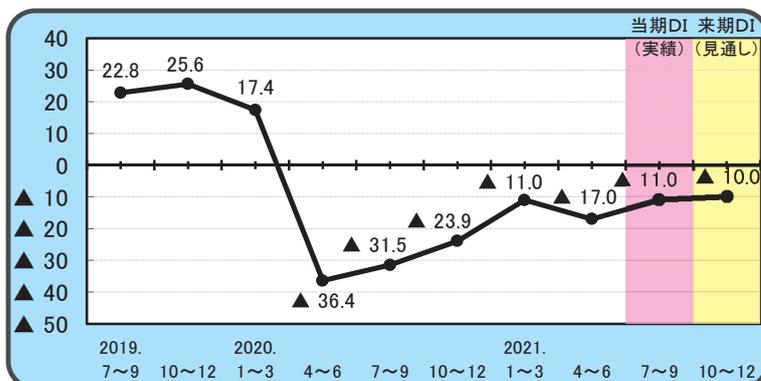
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲13.0 (当期比+1.0ポイント)



売上

【当期(7～9月)DIの実績】
▲11.0 (前期比+6.0ポイント)

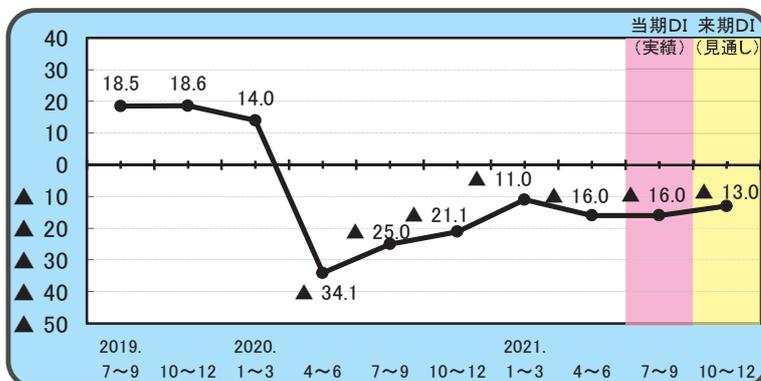
【来期(10～12月)DIの見通し】
▲10.0 (当期比+1.0ポイント)



収益

【当期(7～9月)DIの実績】
▲16.0 (前期比±0.0ポイント)

【来期(10～12月)DIの見通し】
▲13.0 (当期比+3.0ポイント)



- ・建設業全体については、ウッドショックの影響から木材確保に苦慮する先が見受けられ、その影響から工期を延期せざるをえない状況となっている。また、各種建築資材の高騰や人手不足・下請け業者不足などの影響が長期化しており、取り巻く環境に厳しさが見られる。
- ・民間工事については、在宅時間の増加によって居住性や機能性を向上するためのリフォーム需要が増加している。公共工事については、例年並みの受注となりつつあるが、受注競争が厳しく低価格になってきている。

その他

- ・農業（キャベツ・輪菊）
- ・水産業（養鰻）・運輸業・不動産業

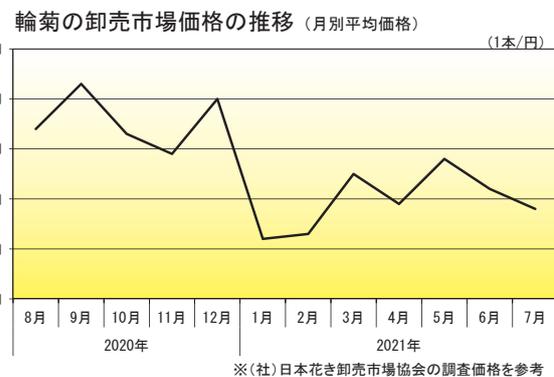
農業（キャベツ）

露地野菜のキャベツは、市場価格の低迷が続いていたが、8月の長雨の影響から生育が停滞し、価格が上昇している。今後も長雨による影響によって植え付け時期に遅れがあり、10月以降の収穫に影響が見込まれる。



農業（輪菊）

菊については、依然として葬儀や各種行事の縮小、緊急事態宣言による影響から需要が減少している。昨年よりも出荷量を増加したことで単価が減少している。九州地方では豪雨被害が出ており、年末に向けて供給量が不安定となる懸念がある。



水産業（養鰻）

養鰻業については、前年に引続き、シラスウナギの順調な漁獲によって稚魚の取引価格が下落している。一方、飲食店の提供価格については、長期的な外食需要の低迷によって、大幅な値下げには至っていない。

運輸業

外出自粛や巣籠り需要が追い風となり、引続きネット通販等の需要拡大に伴って宅配貨物の輸送量は堅調に推移している。人手不足や燃料高騰などの課題も多く、不透明感があるものの、足元の業況は堅調に推移する見込み。

不動産業

不動産物件については、依然としてテナントなどの需要は低迷している。豊川市においては、2023年3月に大型商業施設イオンモール豊川(仮称)の進出が予定されており、今後、周辺地区の需要が見込まれている。

《特別調査》

《調査要領》

調査期間

2021年8月2日(月)～8月31日(火)

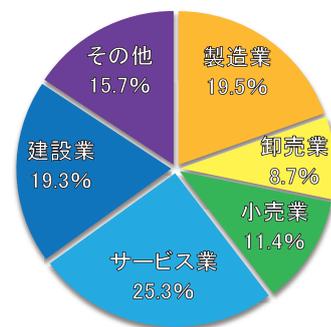
調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

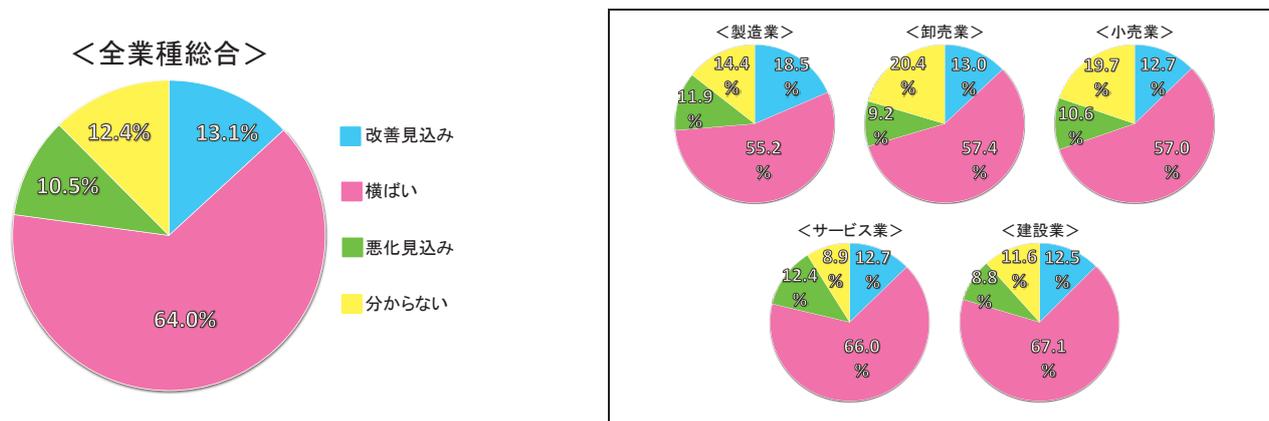
当金庫お取引先企業 1,243社

調査対象企業(1,243社)の内訳



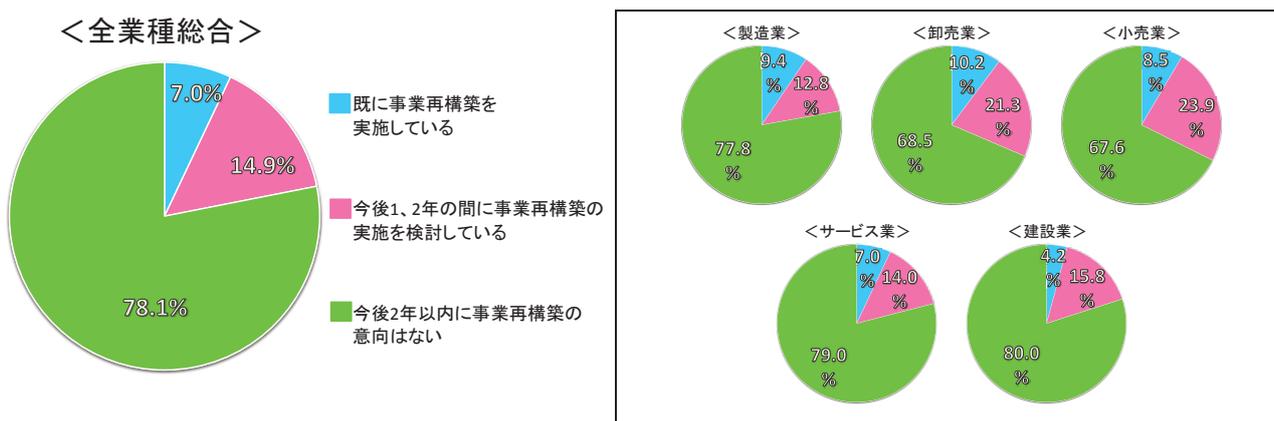
●問1.コロナ収束が見通せない中、貴社の1年後の業況をどのように見込んでいますか？

全業種総合の回答では、「横ばい」が64.0%、「改善見込み」が13.1%、「分からない」が12.4%、「悪化見込み」が10.5%となっている。

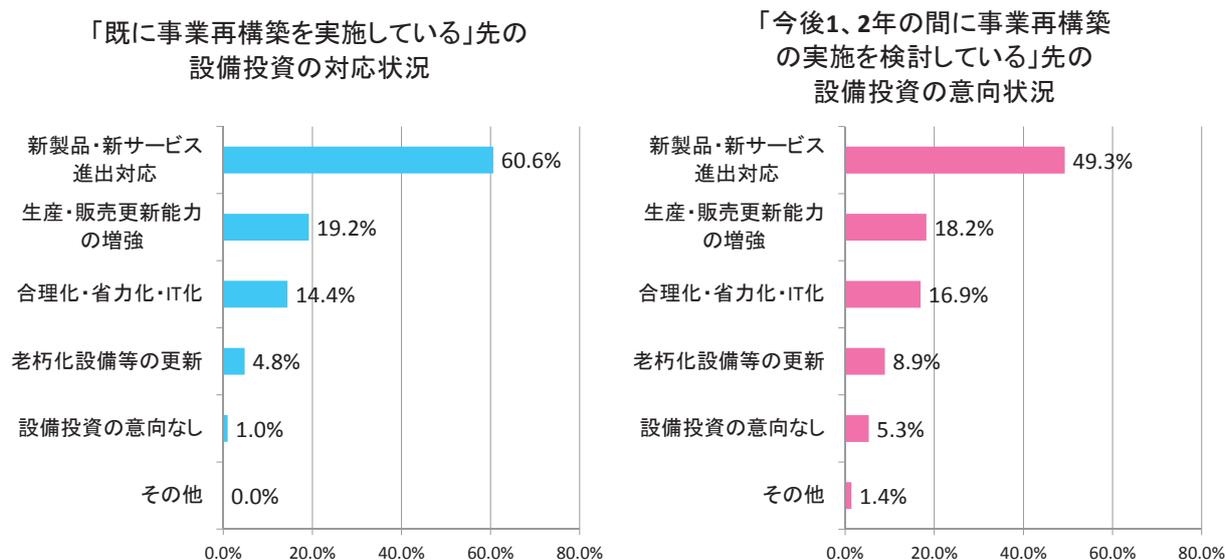


●問2.今後、事業再構築（新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編など）の意向はありますか？

全業種総合の回答では、「今後2年以内に事業再構築の意向はない」が78.1%、「今後1、2年の間に事業再構築の実施を検討している」が14.9%、「既に事業再構築を実施している」が7.0%となっている。



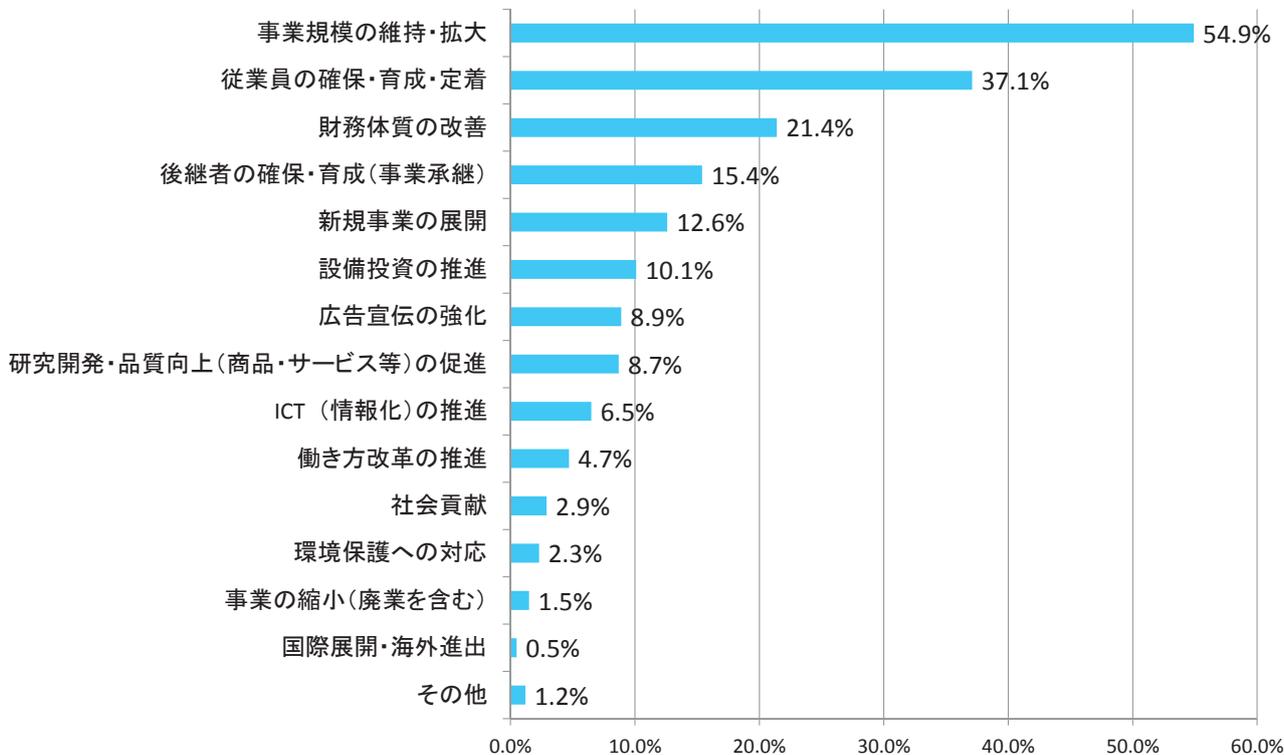
●問3. 問2で「既に事業再構築を実施している」、「今後1、2年の間に事業再構築の実施を検討している」と回答された場合、事業再構築に向けて、どのような設備投資をされましたか？または意向がありますか？



●問4. 貴社が重視している経営課題は何ですか？(最大3つまで複数回答)

全業種総合の回答上位では、「事業規模の維持・拡大」が54.9%、「従業員の確保・育成・定着」が37.1%、「財務体質の改善」が21.4%となっている。

<全業種総合>



スポットライト ～がんばる地元企業～



日本の暮らしに、おかえりなさい。

株式会社 戸田工務店

所在地：新城市字宮ノ後 16-1 (本社)
豊橋市向山大池町 19-5 (向山オフィス)

代表者：戸田 桂一郎

設立：1960年3月

社員数：26名

TEL：0120-68-7707



古民家再生のアタラシイ選択肢をつくる

旅館やカフェ、飲食店などに利用され、地方創生の切り札的な存在として期待を集めている「古民家」。ここ東三河でも、古民家の保存・再生・利活用の活動に取り組んでいる中小企業がある。次代に日本の「伝統」を残すため、古民家再生のアタラシイ選択肢をつくることへの挑戦を続けている株式会社戸田工務店（代表取締役社長 戸田桂一郎・4代目）の取り組みを紹介する。

時が経つほど美しい、歴史を刻むTODAの家

株式会社戸田工務店（以下「戸田工務店」という。）は、豊かな自然に囲まれた愛知県新城市に本社を置く、地域密着型の工務店である。美しく洗練された設計、自然に寄り添い環境負荷が少ない自然素材、卓越した職人の技術を下支えに、時が経つほど美しい歴史を刻む家づくり、に取り組んでいる。

自然素材は、建てた瞬間が一番美しい新建材の家とは異なり、時が経つほどに艶が増し、手を加えることで美しくなっていく、家族の歴史を刻んでいく。また、天然の無垢材や自然素材などの自然の息づかいが、空気を浄化し、湿度を調節し、住まう人の身体や心に安らぎを与えてくれる。年月を重ね、役割を終えた自然由来の材料は土に還り、環境に悪影響を及ぼさない。

「伝統」の構法は「挑戦」の連続でできている。

かつての大工たちは、建造物が強い構造強度を持つように、曲がり、うねった木を組み合わせた。土壁や木の柔軟性を活かして「木と木を木で組む」伝統構法は、日本最古の木造建築物であり、今も創建時の姿を留めている法隆寺の建造以来、建築の匠たちが試行錯誤を重ねることで、磨き上げてきた日本独自の建築技術である。伝統構法を用いた古民家は、100年を超える使用にも耐え得るものであり、日本の文化の一つとして大きな価値がある。新城市をはじめ、愛知県三河地区には、そんな伝統構法によって建築された古民家が多数存在する。

組み合わせられた木は、もともと持っていた性格を矯正されることはなく、寧ろ、その性格を発揮することで、

他の木と補い合い、力を合わせて家を守ってきた。だからこそ、古民家の古材は誇り高く、強い。また、住宅の中で自然に乾燥され、強度の増した古材は「天然乾燥の極め付け」と言える。

古材特有の時間の経過を歴史という価値に。

戸田工務店では、偉大な建築の匠が残した伝統構法の家屋と、その建築技術に敬意を払い、経年劣化した古民家について、残せる状態にあるものは、広く開放的な間取りなど古民家の持つ魅力を、できる限りそのまま維持・保存するようリフォームに取り組んでいる。また、やむなく解体を余儀なくされた古民家についても、再利用可能な太くて経年変化の美しい梁・柱等の古材や古建具を新築・リフォームの際にデザイン的な意匠として再利用することを提案している。

古材は、ワンポイントのアクセントになるだけでなく、新しくて懐かしい家の雰囲気醸成に役立つ。古材と新しい材が創り出す新たな空間には、人の心を癒す穏やかな時間が流れる。



古材をアクセントにしたノスタルジックな空間



伝統構法や古材の価値を語る戸田桂一郎社長

非効率を価値に。古民家再生技術を現代に継承

戸田工務店は、1960年の創業以来、木の特性を見極め、「墨付け」をし、ノミや鉋（かんな）で「手きざみ」をしていく伝統構法を継承してきた。日本では、戦後復興を目指す過程において、住宅不足の解消を目指し、建築基準法が制定された。効率が求められる時代背景の中で、あらかじめ工場では材料を製材・機械加工しておく「プレカット」が主流となったことで、非効率な「手きざみ」の技を引き継ぐ大工は激減した。かつて「手きざみ」を学び、匠の技を残してきた大工も、今や高齢化を迎え、その知恵を継承する若手が不足している。数少ない若手も、その殆どがプレカット材しか扱ったことがなく、自ら「墨付け」「手きざみ」ができる若手は限られている。

戸田工務店では、伝統を追い求め、非効率を価値とし、伝統木造建築に関する教育訓練施設である国土交通省支援「大工育成塾」の受入先となるなど、熟練の大工と、その技を紡いでいく若い大工を引き合わせることで、伝統構法の継承に取り組んでいる。

古民家の利活用により、社会課題の解決に取り組む

古民家再生技術を継承するだけでは、古き良き日本の「伝統」を現代に調和させることは難しい。そこで、会長である戸田由信氏は、2010年に、(一社)愛知県古民家再生協会を立ち上げ、古民家再生による日本文化の次代への継承、地域経済の活性化活動に取り組むこととした。全国、各支部の立ち上げにも尽力し、2020年3～10月には、奥三河4市町村（新城市・東栄町・設楽町・豊根村）との間で「空き家等古民家の活用に関する包括協定」を締結して地元での活動を強化した。

同年7月には、新城市内の建設事業者、不動産事業者、司法書士、弁護士や金融機関などに協力を仰ぎながら、(一社)全国空き家アドバイザー協議会新城支部も設立した。古民家再生の活動を通して、社会課題となっている「空き家問題」の解決に取り組み、地方創生に貢献している。

家づくりの「日本史」を、「世界史」に。

～「奥三河の古民家。海を渡る」プロジェクト～

2020年2月、地道な活動を一つずつ積み上げてきた戸田工務店にとって、大きな機会が訪れた。古民家再生協会の活動を通じて、日本で宮大工の修業をした経験もある米国の建築デザイナーと知り合い、意気投合したことを機に、「米国ポートランドに日本の古民家が佇む景色を作る」という夢を語り合うようになり、古民家の海外輸出に取り組むことになったのだ。

現地の法令、船便の手配、貿易手続き、解体・組立方法など、問題は多々あったが、動きながら考えて、一つずつクリアし、2020年12月には、新城市内の築80年の古民家を米国オレゴン州ポートランドへ輸出した。古民家は、無事米国の地に渡り、現在、現地とオンラインで打ち合わせを重ねながら、「木組み」を開始している。2022年には、古民家移築が完了し、米国でのモデルハウスとしてオープンする予定だ。



米国ポートランドとのオンライン打ち合わせ

次代に「伝統」を残すために「挑戦」し続ける。

米国輸出という大きなプロジェクトに取り組む今も、戸田工務店は、新しい古民家再生のカたちをつくるために挑戦している。戸田工務店が目指すのは、古民家での暮らしに憧れる人はいても、仕事や家族などの関係もあり、田舎暮らしができない人の不満解消だ。

従来の「古民家のあるところに人が移り住む」という古民家中心の考えから、「人が住むところに古民家を移動する」という人間中心の考えに移行し、従来の「古民家再生計画」そのものをリノベーションすることを目指している。これまでの常識を壊すような考えだが、実現すれば、古民家での暮らしに憧れながらも、田舎暮らしができない人達に対し、好きな土地に、好きな大きさで、現代のライフスタイルに合わせた、国内初の新しい古民家を社会に価値提供することができる。

古民家再生という夢舞台がある限り、戸田工務店の挑戦は終わらない。

【豊橋信用金庫 新城支店・事業支援部】



信ちゃん・とよちゃん

「とよしん」は、ずっとこの街といっしょです。

本店営業部 ☎ (0532) 52-0321 (代)
東支店 ☎ (0532) 54-9221 (代)
井原支店 ☎ (0532) 62-2131 (代)
藤沢支店 ☎ (0532) 46-5311 (代)
三本木支店 ☎ (0532) 48-2235 (代)
牟呂支店 ☎ (0532) 32-8000 (代)
幸支店 ☎ (0532) 37-1211 (代)
大岩支店 ☎ (0532) 41-1011 (代)
一宮支店 ☎ (0533) 93-6511 (代)
新城支店 ☎ (0536) 22-1123 (代)
赤羽根支店 ☎ (0531) 45-3911 (代)
インターネット支店 ☎ 0800-500-1048

小池支店 ☎ (0532) 45-0168 (代)
下地支店 ☎ (0532) 54-1355 (代)
問屋町支店 ☎ (0532) 32-5321 (代)
牛川支店 ☎ (0532) 54-3011 (代)
岩田支店 ☎ (0532) 61-1611 (代)
吉田方支店 ☎ (0532) 32-9000 (代)
中央支店 ☎ (0532) 56-6262 (代)
豊川支店 ☎ (0533) 85-2261 (代)
南大通支店 ☎ (0533) 89-4151 (代)
田原支店 ☎ (0531) 22-2171 (代)
新所原支店 ☎ (053) 577-2221 (代)
お客様相談所 ☎ (0532) 52-0175

二川支店 ☎ (0532) 41-0521 (代)
南栄支店 ☎ (0532) 45-4168 (代)
西支店 ☎ (0532) 32-3575 (代)
岩西支店 ☎ (0532) 63-2882 (代)
向山支店 ☎ (0532) 53-7000 (代)
向ヶ丘支店 ☎ (0532) 25-7101 (代)
東田支店 ☎ (0532) 65-9711 (代)
諏訪支店 ☎ (0533) 84-1311 (代)
小坂井支店 ☎ (0533) 72-5011 (代)
福江支店 ☎ (0531) 32-1245 (代)
湖西支店 ☎ (053) 575-1311 (代)



おたくもうちも
豊橋信用金庫

豊橋市小畷町579番地
☎ (0532) 52-0321 (代)
<https://www.toyo-shin.co.jp>

